成果指標達成状況一覧

目標値設定年

課題		成果指標	基準値	目標値・目標状態		現状値 H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	特記事項	備考
1. 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり	a	社会全体の中で男女の地位は平等であると思う人の割合	H24年度 女性13.3% 男性27.2%	H29年度 女性21.0% 男性32.0%	H32年度 女性22.0% 男性33.0%	－	－								男女共同参画市民意識調査
	b	家庭生活の中で男女の地位は平等であると思う人の割合	H24年度 女性33.6% 男性50.4%	H29年度 女性43.0% 男性57.0%	H32年度 女性44.0% 男性58.0%	－	－								男女共同参画市民意識調査
	c	社会通念・慣習・しきたりなどにおける男女の地位は平等であると思う人の割合	H24年度 女性11.7% 男性15.7%	H29年度 女性18.0% 男性28.0%	H32年度 女性19.0% 男性29.0%	－	－								男女共同参画市民意識調査
	d	職場の中で男女の地位は平等であると思う人の割合	H24年度 女性19.7% 男性26.7%	H29年度 女性27.0% 男性34.0%	H32年度 女性28.0% 男性35.0%	－	－								男女共同参画市民意識調査
	e	学校教育の場で男女の地位は平等であると思う人の割合	H24年度 女性61.0% 男性72.5%	H29年度 女性69.0% 男性76.0%	H32年度 女性71.0% 男性78.0%	－	－								男女共同参画市民意識調査
2. あらゆる分野における男女共同参画の実現	a	審議会等委員に占める女性の割合	H24年度末現在 28.8%	H27年度 30.0%	H30年度 35.0%	28.5%	28.2%								
	b	女性委員ゼロの審議会等の割合	H24年度末現在 14.3%	H33年度 年々減少しゼロに近づける		8.2%	9.3%								
	c	家族経営協定締結農家数	H24年度末現在 14戸	H33年度 年々増加する（年1戸以上増加する）		16戸	19戸								
	d	女性の社会的チャレンジ支援の講座の実施回数	H24年度 1回	H33年度 年1回以上実施する		2回	1回								
	e	女性消防団員数	H25年4月1日現在 8人	H34年4月1日現在 10人		10人	13人								
3. ワーク・ライフ・バランスの推進	a	ワーク・ライフ・バランスの内容を知っている人の割合	H24年度 19.3%	H29年度 30.0%	H32年度 37.0%	－	－								男女共同参画市民意識調査
	b	家庭生活のための時間が取れていると感じている人の割合	H24年度 女性80.8% 男性69.9%	H29年度 女性85.0% 男性73.0%	H32年度 女性87.0% 男性76.0%	－	－								男女共同参画市民意識調査
	c	家事諸項目（食事・掃除洗濯）の担当者が「夫婦とも同じ程度」と回答した人の割合	H24年度 女性4.3% 男性8.7%	H29年度 女性5.0% 男性9.0%	H32年度 女性6.0% 男性10.0%	－	－								男女共同参画市民意識調査
	d	子ども家庭福祉に対する取り組みに「満足している」と回答した人の割合	H23年度 16.2%	H28年度 調査ごとに増加する	H33年度 調査ごとに増加する	－	－								市民意識調査
	e	保育所入所待機児童数	H25年4月1日現在 36人	H31年4月1日現在 0人		72人	44人							平成28年4月1日現在	
4. 男女の生涯を通じた健康づくりの支援	a	健康づくりに対する取り組みに「満足している」と回答した人の割合	H23年度 23.2%	H28年度 調査ごとに増加する	H33年度 調査ごとに増加する	－	－								市民意識調査
	b	乳がん検診の受診率	H24年度末現在 37.2%	H30年度 50.0%		38.5%	40.6%								
	c	子宮頸がん検診の受診率	H24年度末現在 27.6%	H30年度 50.0%		28.0%	27.7%								
5. DV等の暴力の根絶	a	DVが人権侵害であると認識する人の割合	H24年度 53.4%	H29年度 100%に限りなく近づける	H32年度 100%に限りなく近づける	－	－								男女共同参画市民意識調査
	b	DVの被害経験（精神的、肉体的、性的）があると回答した女性の割合	H24年度 精神的暴力：5.0% 肉体的暴力：2.0% 性的暴力：1.2%	H29年度 調査ごとに減少する	H32年度 調査ごとに減少する	－	－								男女共同参画市民意識調査
	c	セクシュアル・ハラスメントの被害経験（職場、学校、地域）があると回答した女性の割合	H24年度 職場で：25.0% 学校で：4.6% 地域で：4.6%	H29年度 調査ごとに減少する	H32年度 調査ごとに減少する	－	－								男女共同参画市民意識調査
男女共同参画社会の形成に取り組む体制の強化	a	男女共同参画に対する取り組みに「満足している」と回答した人の割合	平成23年度 7.9%	H28年度 調査ごとに増加する	H33年度 調査ごとに増加する	－	－								市民意識調査
	b	課長相当職以上に占める女性の割合	H25年4月1日現在 3.6%	H34年4月1日現在 5.0%		4.4%	10.7%								
	c	男性職員の育児休暇等の取得率	H24年度 7.1%	H33年度 55.0%		0%	25.0%								
	d	市職員の性別介護休暇取得状況	H24年度 女性0人 男性0人	H33年度 女性、男性ともに取得を希望する人が取得できる		女性1人 男性0人	希望者なし								
	e	男女共同参画に関する職員・教員等研修の参加者数	H24年度 職員　51人 教員等 25人	H33年度 参加者が増加する		職員　45人 教員等23人	職員　36人 教員等27人								
	f	男女共同参画に関する職員・教員等研修の研修目的の達成度	H24年度 職員　68.0% 教員等 85.0%	H33年度 研修の目的に沿った評価をした人の割合が年々増加する		職員　95.6% 教員等91.3%	職員　96.6% 教員等81.5%								